

令和5年2月定例会の会期は  
2月16日(木)開会  
3月10日(金)閉会  
会期は23日間です。  
代表質問をはじめ、一般質問、  
令和5年度当初予算が審議さ  
れます。

佐賀県議会議員

# 江口よしのり

## の県政レポート 情熱佐賀



## 令和4年11月定例会の報告、そして令和5年に向けて

11月定例会は、11月2日(金)開会し29日(木)に閉会しました。

11月定例佐賀県議会は11月22日、原油・物価高対策や新型コロナ対策を盛り込んだ208億9154万円の補正予算案など27議案を可決、令和3年度歳入歳出決算や教育委員任命など5議案を認定、同意し閉会しました。また、北朝鮮の弾道ミサイル発射に抗議する決議案を議員全員が提出者となり全会一致で可決しました。また12月に入り国の緊急経済対策に伴い示された補正予算を受け、閉会後の12/22に議案の説明を受け、観光需要対策、出産・子育て応援事業、送迎バス安全対策事業費など一般会計約32億45百万円の補正予算に対する専決処分を認めました。

新型コロナが発生する以前、佐賀県の一般会計予算はおおよそ4,500億円程度でした。しかし、コロナ対策の様々な施策が加わり令和4年度の補正後予算額は約6,102億8,800万円となりました。実に1,500億円以上も年間予算が増加しています。

令和5年度、果たしてコロナ対策や経済対策、国の防衛政策の行方、増税が気になります。そして何より物価高対策と賃上げ、実質目減りする一方の年金制度の改正が必要です。国でやること、地方で取るべき施策、地域の皆様の声を県政に反映する努力を積み重ねて参ります。

### 11月定例会の一般質問ダイジェスト

### 緊急な有明海ノリ対策が必要です。

11/9(水)一般質問2日目の二人目の質問者として登壇しました。今回の質問項目は3問。

【問1】フィンランドとの交流・連携について

【問2】有明海の再生について

【問3】佐賀空港自衛隊使用要請について でした。

○フィンランドとのご縁は東京オリンピックの際にフィンランドチームが佐賀県で事前キャンプを行ったことです。幸福度世界一と言われるフィンランドと連携協定を結び、10/17から使節団を派遣しました。フィンランドの子育て、ものづくり、環境・エネルギー政策を学び、先進的で見習うべきことは佐賀県としても積極的に見習っていこうとの意向です。

○有明海再生に関しては、10/26のノリの種付け以降、赤潮の発生と深刻な栄養塩不足との現状に対して県の認識と対策について質しました。諫早湾干拓潮受け堤防の開門調査以外で思いつくこと、出来ることは何でも取り組んでいるとの趣旨の答弁。他県の専門機関との連携も含めて、海況悪化の原因究明と更なる対策の検討を要請しました。

○佐賀空港への自衛隊使用要請に関しては、佐賀県と県有明海漁協が締結していた公害防止協定について、11/1の会議における余りに突然の見直し決定へのプロセス、拙速な対応について質しました。そもそも、8月から9月にかけて開催された6支所への防衛省の説明会では、組合員から「排水などの条件を満たすことで協定見直しになるのか、頭越しに決めないで」「漁業者個人に配備のメリットはない」「ノリに風評被害が出ないか」の反対意見が噴出していました。「漁協の役員ばかりで勝手に決めるな」との若手漁業者の切実な声も出ていました。防衛省の再度の説明会と追加説明が約束されたにもかかわらず、その実施前に知事が漁協の役員会に向いて、支所へ持ち帰り検討したいという意見も聞き入れず、その場で見直しを押し切った強引なプロセスを質しました。再々質問に対して、知事は、「江口議員とは考え方が違う云々」と支離滅裂で苦しい答弁の様子でした。

議事録はこちらからもご覧頂けます。⇒ 9ページからです。





# 活動日記

10/17~21フィンランド視察  
国会議事堂です。



11/3応援している  
佐賀ジュニアオーケストラの演奏会  
です。



11/12 (祝) 有明海  
沿岸道路の諸富  
ICの開通式にて



11/15総務常任委員会で  
新築の唐津市役所を  
視察。地下には免振ゴ  
ムが設置されてます。



11/22 連合佐賀議員  
懇談会で完成間近の  
佐賀アリーナを視察。

12/27 防衛省の  
説明会。質問に  
ちゃんと答えて  
ほしい



11/26ノリの種付け  
に同行、見学させて  
頂きました。豊漁を  
願うばかりです。



11/29 所属する佐賀  
南ロータリークラブ  
主催での毎年恒例の  
東与賀シチメンソウ  
清掃活動です。

1/5 総地元中川副の  
老人クラブ連合会の  
新年初会議に来賓出  
席。新年のご挨拶を  
申し上げました。



1/1 坂井バス停前の  
事務所にて。思いも  
新たに。



**江口よしのりプロフィール**  
 S42年9月2日生れ(55歳)  
 中川副小、城南中、佐賀北高、  
 早稲田大学社会科学部卒業後  
 米国NYに語学留学。旅行会社  
 添乗員、出版社、衆議院議員  
 公設秘書を経てH23年4月初当選  
 (現在3期目)  
 【事務所】〒840-2205  
 佐賀市川副町南里397-2  
 携帯 090-2542-5223

**編集後記**  
 新年、令和5年の幕が開けました。気が付けば令和も、もう5年目な感じです。昨年11月の22日、定例会の閉会日の夜に発熱して、まさかの陽性判定でした。3日間は高熱、咽頭痛、節々の痛みでした。まるでインフルエンザの症状に似ていました。無症状の方もいらっしゃり、症状は人様々のようです。私は結構きつかったです。かからないに越したことはないと思いましたが、不思議なことに嗅覚と味覚には異常なし。相変わらず何を食べても美味しく感じました。ただ、周りは誰も感染しておらず、感染経路に全く心当たりがありません。不思議でした。罹患する方が増えれば重症者も増加しています。引き続きの感染防止への備えは心掛けましょう。あと年末に川副町に転居しました。久しぶりに川副町民に戻りました。みんな元気で健康で、笑顔で令和5年を過ごせますように、県政でより一層頑張って参ります。